

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年10月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000055
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どりーむ大山
所在地	鹿児島県指宿市山川大山2951番地 (電話) 0993-35-0280
自己評価作成日	令和5年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年10月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

これまで出来なかった直接面会や外出も、感染防止に努めながら実施できるようになりました。近所の方や家族との触れ合いが、明るさをもたらしてくれるように感じます。
どりーむ大山においては、職員間のチームワークが良く情報共有がしやすいことや、看護資格を有する職員を中心に、医療との連携が図りやすいことで、健康管理や統一した介護に努めることが出来るようになってい

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は畑が広がる静かな集落に立地し、広い庭に出て山や畑を眺めて季節を感じられる環境に建てられている。室内は広く車いすの移動に支障のないようにテーブル等の配置をしている。
- ・新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが地域の活動はまだ少なく、利用者の行事参加も見合わせているが、通りがかりの住民が声を掛けてくれたり近所からの野菜の差し入れがあるなど、地域との交流が再開されつつある。
- ・家族の面会が対面でできるようになり、本人・家族の精神的な安定に繋がっている。また、看護の有資格者による健康チェックや訪問診療・24時間の医療連携が行われており、本人・家族の安心となっている。
- ・職員間のコミュニケーションが良好で、管理者は職員が働きやすい職場環境づくりと研修や資格取得による質の向上に取り組んでいる。また、3名専任の調理担当職員があり、介護の有資格者でもあることから利用者の見守り等も兼ねており、職員は介護に専念できる体制である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自分らしく、生き生きと、いつまでも夢を。の理念を念頭に、個別支援に努めている。	外部評価に当たり理念の見直しを検討したが、継続することで職員の意見がまとまり、パンフレットに掲載するとともに事業所内に掲示予定である。朝の申し送り時にケアを振り返り、理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	最近では、テラスで外気浴をしていると、近所の方が声を掛けて下さったり、隣の家の方が収穫した野菜を下さったりと、交流が再開しつつある。	自治会に加入しているが、現在も行事への参加は見合わせている。通りがかりの住民からの声かけや近所からの野菜の差し入れなどがあり、住民との交流は徐々に戻ってきたようである。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	利用者の家族や、申し込みに来られた方の、介護相談などに応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症の拡大状況を勘案しながら、行政、地域の民生委員、利用者の家族代表の方々へ、書面での状況報告が続いている。郵送後は電話で、労いや指導、励ましの返事を頂いている。	2ヶ月に1回の会議は書面開催を継続しており、今後、コロナ等の感染状況を見ながら対面開催を検討予定である。資料郵送後に電話で意見交換を行っており、委員から事業所の取組みに対する理解と支持を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当の方々から、1月に受けた運営指導に於いて、細かく分かりやすい指導を頂き、励ましの言葉も頂いた。運営において分からないことがあると、いつでも快く相談に乗って下さる。	市の担当者とは、運営推進会議の資料持参時の意見交換や電話及び窓口に出向いて相談を行う等、日頃から連携を図っている。市や協議会の研修はリモート研修を含め参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、年2回の勉強会のほか、毎月の職員会議においても確認しあって、拘束のない介護に努めている。	指針を基に、委員会を3ヶ月に1回、研修会は年2回実施している。車椅子使用時に安全な支援ができるように話し合いをしている。日中は玄関の施錠はせず職員の見回りや近隣住民の協力を得て、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を中心に、勉強会や、話し合いで虐待が見過ごされることのないよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在までに、対象となるかたはいないが、状況に応じて行政と相談しながら、支援したと思っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>書面をもって、対面での説明と承諾を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者とは、日々の生活の中で要望や意見を聞くように努めている。家族とは、利用料支払いや面会の機会や、電話、メール、ラインなどを活用して、意見交換し運営に反映させている。</p>	<p>利用者には日常の会話の中で要望等を聞いており、その時に牛乳や緑茶の提供に繋げた例がある。家族には面会時や電話・ラインで要望を聞き、個々の要望に沿って反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者が日々の業務の中や職員会議に於いて、職員との意見交換に努め、代表者に繋げることで、運営に反映させている。</p>	<p>管理者は日頃から職員が意見を言いやすい雰囲気づくりに努めている。毎月の職員会議で、提案議題を話し合っている。最近新オムツ商品を使用し、結果を検討し意見を出し合っている。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者が中心となり、個々の職員の実績や意見要望を代表者に伝え、就業環境の整備に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、管理者を通して職員の力量を把握している。協議会での研修参加や、施設内で動画配信サービスを活用した勉強会を実施し、トレーニングに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区や県の協議会に加入し、知り合いの管理者同士では情報交換をしているが、感染症の流行により交流の機会が減っている。今年度は、指宿地区の会長を担っていることもあり、交流を図っていく予定である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご本人と面会し、理解力のに合わせた会話で、生活状況や認知の状況を確認し、困っていることや不安・要望を聞き、信頼関係に繋げている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申し込みの際に、家族の困っていることや、要望を聞き信頼関係に繋げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族はもとより、関係機関からの情報をや意見も含めて、総合的に判断し、支援を見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事作業を一緒に行ったり、季節の行事を一緒に楽しむことで、一緒に生活する仲間として支えあう関係を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人との関係が薄れないように、また安心して頂けるように、支払いや面会の際は、生活状況を報告している。必要時は、管理者より随時電話やメールで報告や相談を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症の拡大状況を勘案しながら、現在では玄関の風除室やテラスでの直接面会を実施している。希望や必要性を考慮し、外出や外泊も再開している。	対面での家族の面会を玄関等で実施し、本人・家族の精神的な安定と関係継続に努めている。家族の希望や本人の状況で外出や美容院利用も再開し、これまでの生活が継続できるよう支援に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格や理解力での座席配置や会話の間を取り持つなどの支援で、利用者間の交流を支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院が必要で退所となった方など、入院中や退院後の不安に対しては、連絡を取り合い支援を続けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思疎通の可能な方は、日々の生活の中での発言を記録で残し、困難な方は表情や家族の意見を参考に、職員間で共有し把握し支援に繋げている。	日常会話の中で、本人が意思表示ができるように職員の方から話しかけて本人の意向の把握に努めている。困難な場合は家族や職員からの情報を参考に、表情やしぐさ等からくみ取るように努めて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や関係機関からの情報を、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録のほか、朝夕の申し送りや、ミニカンファレンスで伝達し、切れ目のない介護に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の生活の中から得た情報と、面会や電話で得た家族の意向を踏まえて、状況に即した介護計画に努めている。	日々の生活で把握した本人の希望や面会時等に聞いた家族の意見を基に、ミニカンファレンスや職員会議で出された職員の意見を加えて介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月毎に行い、1年に1回及び状況変化時にも計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝夕のミニカンファレンスや、月1回の職員会議に於いて、介護の実践状況や結果・見直しなどを一緒に検討し、評価している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	感染症の流行状況に合わせてながら、職員だけで難しいサービスは、家族の協力や、施設長・行政に相談し、柔軟なサービスに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症流行で、狭くなった地域との関係を、散歩や外気浴で、地域の方とも話す機会が再開したことで、徐々に広がっていったらと、考えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望する病院からの、訪問診療を受けており、看護職員を通して、状態報告や相談を行い、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時に希望するかかりつけ医を確認し支援している。月2回の訪問診療を利用し、他科受診は職員が対応している。緊急時を含め24時間の医療連携体制があり、職員の看護の有資格者による健康チェックも行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤職員に2名、非常勤職員に2名の、看護資格を有した職員がおり、リーダー看護師を中心に、職員間や病院、薬局との連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、直ぐに情報提供書を作成し、切れ目のない介護ができるように努めている。入院中や、退院に際しては、病院の連携室との関係を保ち、医療～介護へのスムーズな以降に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化や終末期に対する意向を書面で確認し、状態変化に合わせても適宜に、意向の再確認を行っている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について書面で説明し、同意書をもっている。段階的に特別養護老人ホーム等の選択肢について説明し、申し込みをする家族もある。事業所での介護が困難な状態になったときは家族の意向を確認し、意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>施設内勉強会で、研修動画を用いた、急変時の対応を訓練するほか、管理者が職員個別で対話の機会に、不安の訴えがあれば、アドバイスしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震を想定した避難訓練を、年2回実施しており、協議会での研修参加や施設内での動画研修も行っている。</p>	<p>年2回昼間想定で避難訓練を実施しており、消防署の立ち合いはコロナ禍のため受けていない。年1回業者の点検は実施している。非常用の備蓄は、水、ラーメン・レトルト食品等の食料、カセットコンロを確保し、普段の食料も多めに準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者、お客様であることを常に頭において、言葉選びや丁寧な支援を心がけている。接遇に対する、動画研修も行っている。	接遇研修を実施し、年長者に対する丁寧な言葉遣いや対応に努めている。さん付けで呼びかけ、入室時のノック、ケア前の声掛けを実施し、排泄介助等は羞恥心に配慮して対応している。申し送りは事務室で実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の理解力や性格に合わせて、会話にジェスチャーや選択肢を交え、意志表出や自己決定を支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は決まっているが、強制するものでなく、個々の希望や体調にあわせての活動としている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	可能な方は、着替えの準備などは、一緒に行っている。散髪は、美容室に行くことも可能であり、希望者は職員が衛生的にカットすることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>行事食の工夫と、誕生日には希望を聞いて献立をたてている。可能な方とは、一緒に調理や片付けを行うこともある。</p>	<p>専任の調理担当職員が食事の準備を行い、個々に応じた食事形態で提供している。利用者も一緒に下ごしらえ等を行っている。行事食や誕生日のケーキ・好物、テラスでの食事やお茶等、食事を楽しめるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎月の体重測定や糖尿病の方の血糖検査結果を聞いて、食事量の目安としている。水分量も、訴えられない方は、排尿量を目安に支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアを、個々にあった方法で支援し、困りごとがあれば歯科受診して相談している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排尿パターンや尿量を把握し、トイレ誘導の時間設定やパット選びをおこなっている。</p>	<p>排泄パターンを把握し、日中、立位が取れる利用者はトイレでの排泄を基本に支援している。排泄用品はひとり一人に応じたものを試行したうえで、適切なものを使用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便状況を記録に残し、看護職員を通して主治医に相談しながら、内服調整している。飲食物の工夫や、ラジオ体操や運動の支援で、便秘予防にも努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴予定表はあるが、個々の身体状況や希望に合わせて、臨機応変に対応している。	週2回午前中に入浴を支援しており、夏季はシャワー浴がほとんどで、2人での移乗介助や同性介助、汚染時のシャワー浴も実施している。冬は入浴剤を使用して楽しんでいる。嫌がる場合も声掛けを工夫して入っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の、体力や希望に合わせて、休息、臥床の支援を行っており、室温や寝具も気温や好みに合わせて調整している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護職員を中心に、内服管理を行っており、説明書を記録と一緒にファイルして、いつでも確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の好みに合わせて、調理や買い物、洗濯などの家事作業・手芸工作・テレビや読み物などを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>最近では、施設外への散歩や、スーパーなどへの買い物、家族の協力で外出することも出来るようになってきた。</p>	<p>近隣の散歩や希望者で買い物に出かけている。外出の機会を活用して医療機関受診時のドライブや家族と外出する利用者もある。テラスや庭に出て外気浴や畑を眺めて楽しんだり、できるだけ戸外に出るように努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望者は、お金を持ちこむことも可能であり、一緒に管理するようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望には、本人と時間を検討して、取り次ぐ支援を行っている。訴えのない方には、職員から声をかけて、手紙や電話の希望はないか聞いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温湿度計を確認しながら、消毒や換気を行っている。フロアには、月ごとに季節の装飾品や、皆で制作した作品を飾り付けを、一緒に行っている。</p>	<p>フロアは天井が高く畳スペースがありゆったりしている。適度な室内環境に調節し、換気は高窓を開けて行っている。動線に物を置かないようテーブルや空気清浄機を配置している。テラスから広い庭に出られ開放的で、利用者が好きな場所でくつろげるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フローヤ、テラスには、くつろげる場所も設けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の部屋には、家族写真や製作品などを飾っている。希望の家具やテレビなど、一緒に考えながら配置している。</p>	<p>掃き出し窓で明るい居室には、電動ベッドやタンス・物入・エアコン・寝具が備えてある。本人の使い慣れた寝具やテレビ・椅子を持ち込んだり、遺影や写真・作品を壁に飾って居心地よく過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フローヤや廊下には、同線を遮らないよう最小限のものしか置いていない。居室には、希望に合わせて、目印などを付けている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない